

みんなの伸びよう理想に向かって



美野里通信

令和5年度
小美玉市立美野里中学校
学校だより

令和6年1月9日 第12号

校訓 **進取 自立 希望**

2024年 令和6年がスタートしました！

明けましておめでとうございます。

2024年、令和6年、辰年がスタートしました。日本には、1月1日に歳をとる「数え年」という考え方があります。昔の人々は、新年を新たな人生の節目として大切にしていたことがうかがわれます。

今年は、能登半島地震による被災や羽田空港の事故等、新年早々、日本中に混乱がありました。そのような中で、平穏に新年を迎えることができた方々も、何気ない日常の幸せや有難みを改めて実感するとともに、平凡な日々を大切にしなければならぬと再認識したのではないのでしょうか。

さて、そんな毎日をより充実したものにできるよう、生徒たちには、しっかりと志や目標を立て、また新たな挑戦をはじめてほしいと思います。そして、本年も一回りも二回りも心身ともに大きくたくましく成長してほしいと心から願っています。



本年が皆様にとって素晴らしい一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。教職員一同、生徒の輝く夢を実現できるよう、一丸となってサポートしてまいります。本年もどうぞよろしくお願いたします。

私立高校の入試が始まります

3年生は、いよいよ本日から私立高校の入試が始まります。

美野里中学校では、県内外の私立高校20校に延べ302人が受験します。生徒の皆さんは、今まで努力してきた自分の力を信じて、受験で力を発揮できるよう体調管理には十分気を付けてほしいと思います。ご健闘をお祈りいたします。

ご家庭でも受験シーズンに入り、何かと心落ち着かない日々をお過ごしのことと思いますが、何か心配なことがございましたら遠慮なくご相談ください。



学びを止めない工夫をしています

昨年末の12月19日、20日に、1年生を対象に「学校アクティビティ事業」が行われました。

これは、次世代を担う子ども達が、文化的活動を通して豊かな感性とやさしい心を育てることを目的として行われる、小美玉市の体験型ミニコンサート事業です。

今回は、琴の谷井琴子さんと十七絃箏の池上亜佐佳さんによるユニット『琴佳』さんが演奏を行ってくれました。琴のつややかな音色と十七絃箏の重厚感のある豊かな響きで奏でられる音楽は、和・洋を問わずとても素晴らしかったです。生徒一人一人が琴と箏の体験もできて、楽しいひとときとなりました。

あいにく当日は、1年6組がインフルエンザによる学級閉鎖となっていました。これまでならば、1年6組の実施はあきらめてもらうところでしたが、1人1台端末の効果的な活用と琴佳さんの臨機応変な対応で、リモートによる体験を行うことができました。

流行の「アイドル」というYOASOBIのポップでハイテンポな曲を、琴によって巧みに演奏する姿に、自宅からリモート参加していた1年6組の生徒から、たくさんの拍手マークやいいネ！マークが送られてきました。

※1人1台端末による家庭学習やリモート学習の充実のために、防衛省の特定防衛施設周辺整備調整交付金が活用されて整備されています。

